



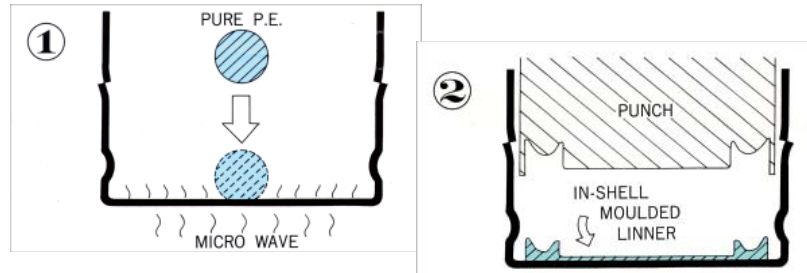
KITA SANGYO

ピーエム

PM PP キャップ (ポリエチレン・インシェルモルディング PP キャップ)

PMキャップとは、

通常のPPキャップは、アルミのキャップシェルの中に、別工程で打ち抜かれた円形シートライナーを入れて製造しますが、「PM (Polyethylene in-shell Molding) PPキャップ」は、高温のポリエチレンをキャップシェル内で「圧縮成型 (Compression Molding)」という方法でライナーに成型するものです。



PMキャップのご採用例

PPキャップの
画像処理検査装置
(大阪工場)



PMキャップのメリットは、

- 最終工程が高温（アルミシェルは高周波加熱、ポリエチレンは溶融状態）で、そのまま箱詰めされるので衛生的。
- ライナーは壇口に合わせた形状に成型するので、一般的に言って密封性が高い。（特に对内圧の密封性）
- 通常のPPキャップに比べて、価格が安い。
- 従来は製作最低ロットが10万個以上でしたが、受注ロットを引き下げてご注文が受けやすくなりました。
- 環境に優しいポリエステル系塗料仕様を標準としています。

※（一般のご注意）PMキャップをご採用いただく場合にご注意いただきたいこと

- PP 30 Sの場合、シートライナー入りのキャップに比べて若干全高が低くなります。（壇口上部のライナー厚みがシートライナーに比べて薄いため）したがって、変更時には通常キャッパーの調整が必要です。
- PP 28 SHの場合、トップサイドシールを行うためのキャッピングヘッドの条件（トッププレッシャ、リフォームデプス、ポアダイヤなど）はご照会ください。
- (PMキャップに限ったことではありませんがキャップ変更時には、) 開封トルクや逆転トルクの管理値をご確認ください。また、内容物とのフレーバー適性についてもご確認ください。
- 開封トルクの管理のために、ポリエチレンには若干の滑材（無臭、食品グレード）を混入しています。充填後に長時間高温処理をするなど特殊な条件によっては滑材がごくわずかに溶出するケースもありますので、ご使用に当たっては当社担当者と充填方法等をご確認ください。

(仕様は予告なく改良することがあります。)

www.kitasangyo.com

021119/051104/060922

Version 2000
ISO9001
本社・本社工場・奈良工場

きた産業株式会社
KITA SANGYO CO., LTD.

西日本担当：tel 06-6731-0251 fax 06-6712-6023 osaka@kitasangyo.com

東日本担当：tel 03-3851-5191 fax 03-3864-9137 tokyo@kitasangyo.com

PM Cap ed.04 / 060922 / E.H Mac